

豊田市における通勤交通マネジメント 「チャレンジECO通勤」 の取り組みについて



みんなで参加
TDM「交通需要マネジメント」で
道路渋滞、大気汚染をなくそう

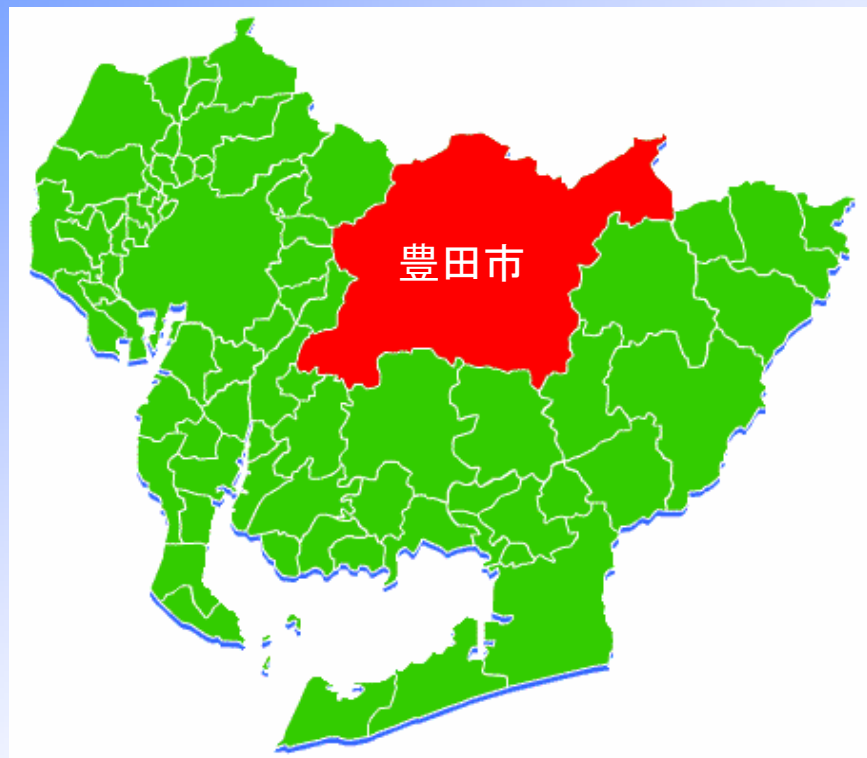
Transportation (交通)
Demand (需要)
Management (マネージメント)

TDMとは
車の利用者の交通行動の変更を促すことにより、都市や
地域レベルの道路交通混雑を緩和する手法のことです。

豊田市交通政策課 石川要一

豊田市の概要

位置等

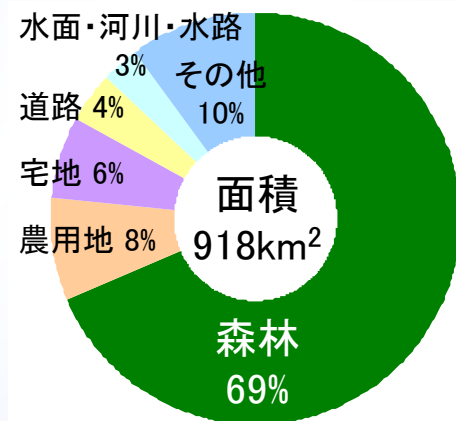


新市誕生 2005年4月
人口 41.9万人 全国第41位
面積 918km²(愛知県の18%) 全国第23位
(2007年)

日本の典型的な地方都市

土地利用の状況

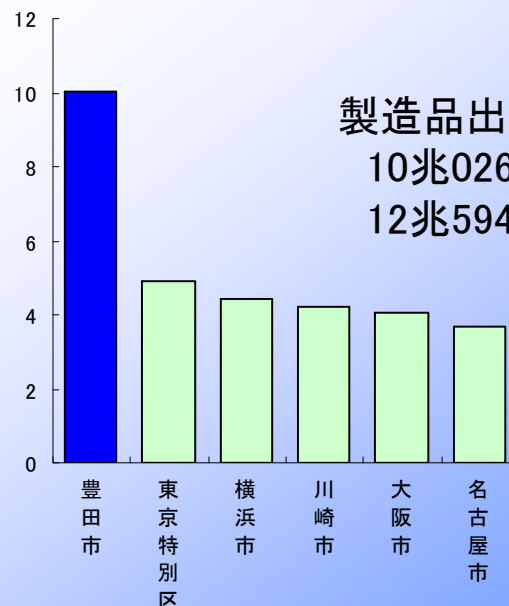
新市における
林野率は69%
↓
日本の林野率と
ほぼ同じ



クルマの街

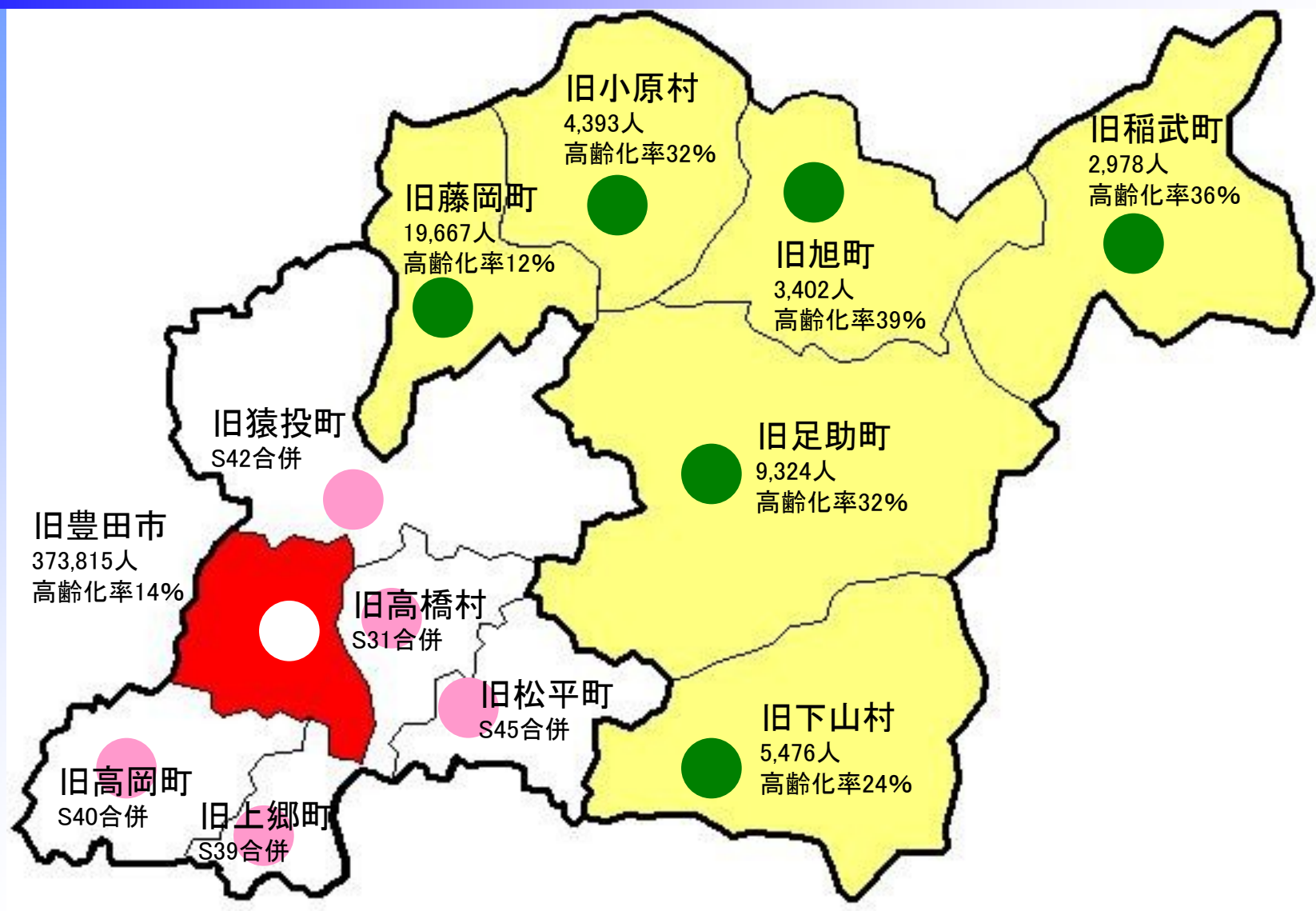
産業も生活も自動車を中心
乗用車の保有台数は1世帯当たり1.7台(2006年)

兆円



製造品出荷額等 全国第1位
10兆0264億円(2005年)
12兆5949億円(2006年)

豊田市の構造



高度経済成長と昭和の大合併

- ・産業誘致による工場の分散立地
- ・急増する人口のための住宅団地整備
- ・周辺5町村との合併(S31～45)



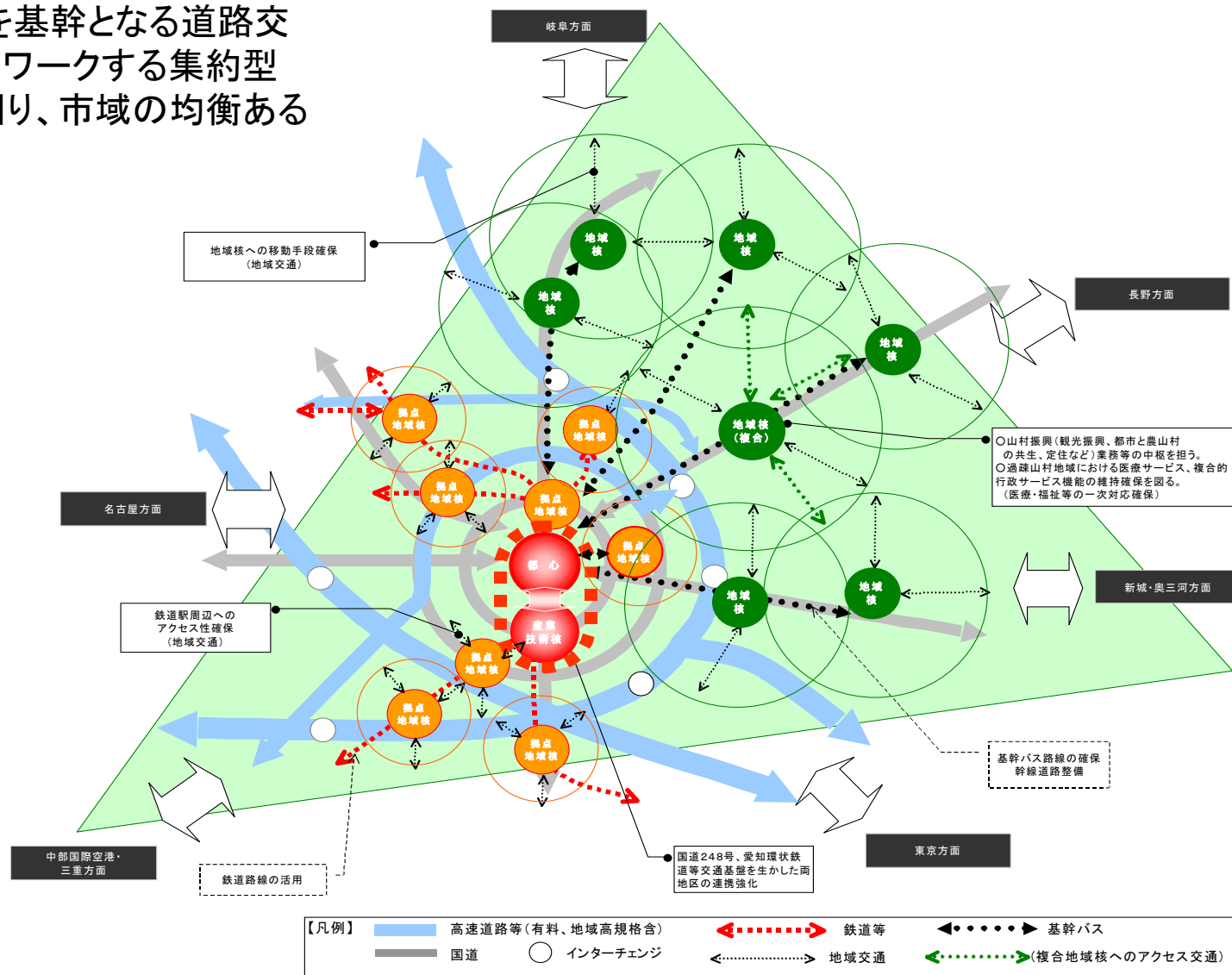
地方分権と平成の大合併

- ・周辺6町村との合併(H17)
- ・多核ネットワーク型都市構造

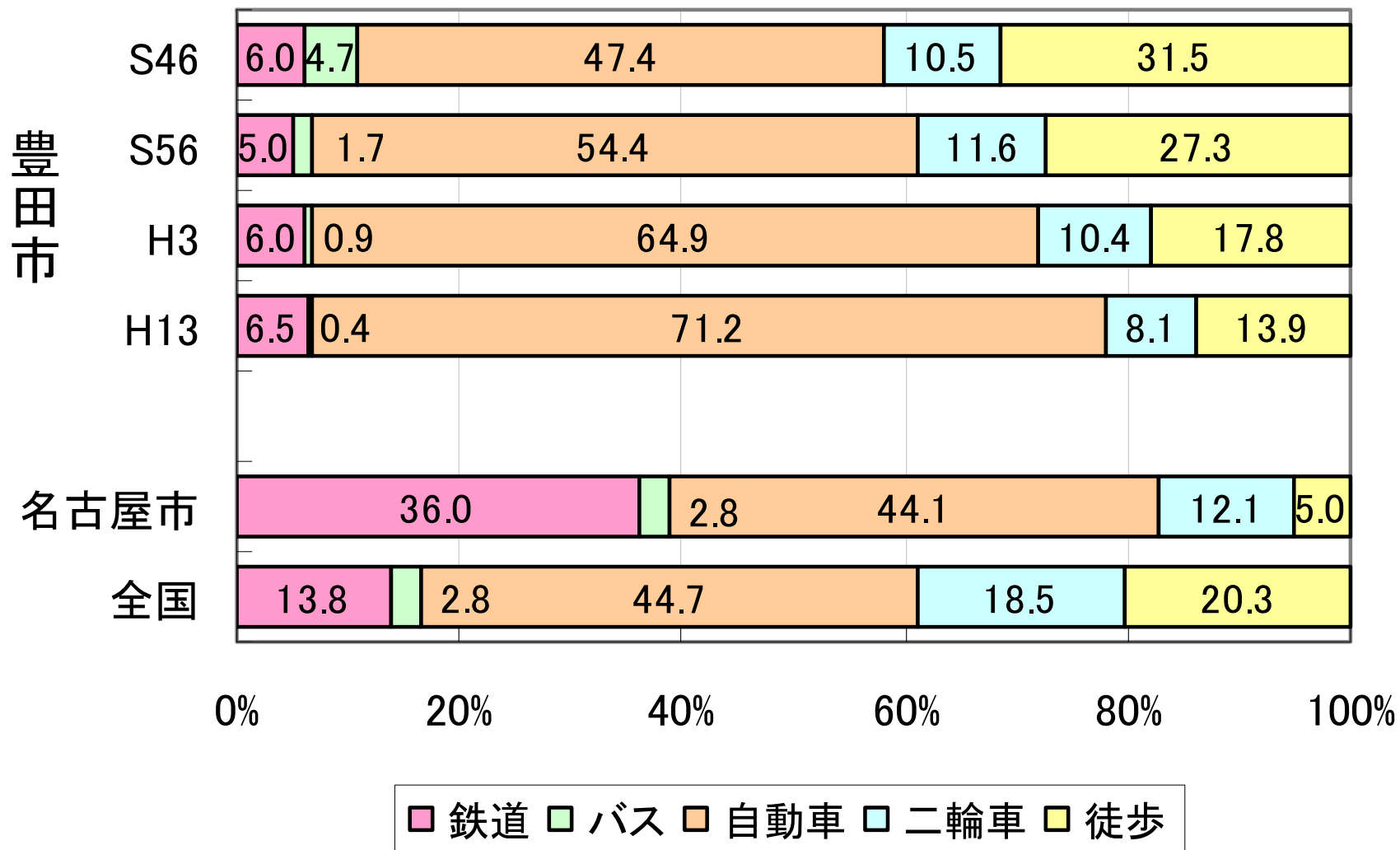
将来都市構造

多核ネットワーク型都市構造(第7次豊田市総合計画)

一体的市街地の形成促進と機能が集約された都市拠点・核を基幹となる道路交通・公共交通でネットワークする集約型都市構造の確立を図り、市域の均衡ある土地利用を推進する



代替手段別利用率の推移



豊田市における交通の課題③

渋滞

渋滞損失 【金額】500億円/年(2005年) 【時間】1,569万人時間/年(2005年) 【CO2】84万トン(2006年)



R153



R155

通勤時
中心部へ向かう車
で渋滞発生



R248



R248

豊田市における環境的に持続可能な交通（E S T）モデル事業

事業概要

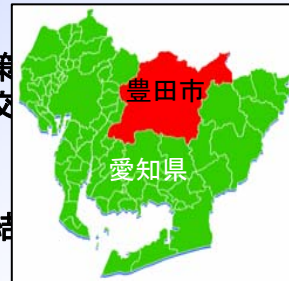
豊田市は、TDM施策の推進やITS技術を活用した総合交通対策取組み、環境的に持続可能な「人と環境にやさしい先駆的な交通まちづくり」を進める。

【5つの基本方針】

- I T Sを横断的に活用し、すべての交通施策を有機的に連結して、まちづくりの中でTotal Planを実現する。
- 利便性の高い公共交通の整備と利用促進【公共交通分担率の向上】
- 人と環境にやさしい安全で快適な道路づくり【渋滞の緩和】
- すべての人にとって使いやすい空間の創出（ユニバーサル化）

【ライフスタイルの

変化】



目標

平成19年度までに対象エリアの公共交通機関利用者数：7.2%増（平成13年度比）

CO₂削減評価

幹線道路における旅行時間計測、公共交通機関の利用者数等の実態調査に基づいた環境改善効果（CO₂削減）の検証

モデル事業メニュー

環境の改善

交通環境モデル都市『人と環境にやさしい先進的な交通まちづくり』の実現

公共交通の利用促進

- ◇愛知環状鉄道複線化事業
- ◇生活交通確保事業
- ◇中心市街地公共交通利用促進事業
- ◇パークアンドライド駐車場整備事業
- ◇駅前広場整備事業

道路交通の円滑化

- ◇国道153号豊田西バイパス事業
- ◇国道153号足助バイパス事業
- ◇国道155号豊田南バイパス事業
- ◇国道153号交差点改良事業（久保町～陣中町）
- ◇国道248号豊田南拡幅事業（トヨタ町～拳母町）
- ◇国道419号梅坪拡幅事業（梅坪町～上原町）
- ◇名古屋鉄道三河線高架化事業

都市内道路空間再構築等

- ◇豊田市駅周辺地区まちづくり交付金事業
- ◇国道248号自転車歩行者道整備事業
- ◇豊田駅前通り南地区再開発事業
- ◇浄水駅周辺地区まちづくり交付金事業

環境行動計画・TDM推進

- ◇低公害車普及促進事業
- ◇TDM施策の推進強化（社会実験による交通行動変化の促進）
- ◇エコドライブ

豊田地域ITSの推進

公共交通利用促進

- 見やすい路線図や時刻表の提供
- 乗り換え検索情報の提供
- 運行情報をリアルタイムに提供
- 呼出対応バス（デマンドバス）の整備
- 公共車両優先システムによるバス定時性の確保
- パーク＆ライド支援情報の提供

渋滞の解消

- VICS等による道路交通情報の提供
- ETCによる料金所の渋滞削減
- 所要時間等の経路情報の提供
- 信号制御の高度化
- 高速道路の有効活用
- 公共交通の利用促進

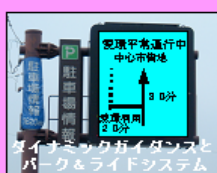
中心市街地活性化

- パーク＆ライド支援情報の提供
- ノンストップ自動料金支払い駐車場の整備
- ショッピングカートの共同利用
- 地域イベント情報の提供
- バリアフリー情報提供
- 歩行者のための情報提供

交流の促進

- ITS情報センターや道の駅の整備
- 目的地に関連した移動情報（道路交通、経路、バリアフリー、バス等）の提供
- リアルタイムな観光・地域情報の提供
- 交通規制情報、路面情報等の提供
- 船島のETC専用インターチェンジ（スマートIC）の整備

地域公共交通ICカードによる公共交通利用促進



「チャレンジECO通勤」の背景と目的

- 豊田市では通勤時の道路交通渋滞が深刻な問題
- 平成5年度からTDMの取り組み継続、一定の成果
- 大企業は独自に対策を実施し始めたが…

- 
- 施策は恒常的な行動変容につながっているのか？
 - 継続は力？もう一工夫必要？

CO2削減の意識高揚

MMの普及



広域的な取り組み
へ展開

- 「CO2削減」目標として訴え、TFPを実施。持続可能で自発的な行動変容を促し、渋滞緩和を目指す。
- 愛知環状鉄道沿線4市、中部運輸局と共同で実施。

「チャレンジECO通勤」の概要

- 11月14日(月)～18日(金)の5日間、“ECO通勤”を目的としたTFPを実施。
- Web上でのTFP支援システムを開発し適用。インターネット利用環境の無い参加者には紙面調査票を準備。
- 豊田市TDM研究会事業所はじめ、愛知環状鉄道沿線4市(岡崎, 瀬戸, 春日井, 豊田)の事業所に広報し、マイカー通勤者の参加を募った。
- 参加者には、CO2削減量に応じたエコシール(レジ袋を断る等エコ活動への特典)を付与。

地球のためにひとり一人ができること

チャレンジECO通勤

5日間の実験にチャレンジして、地球環境保全の第一歩を踏み出そう!

- 実験期間：平成 17 年 11 月 14 日(月)～18 日(金)
- 実験内容：自家用車で通勤している方々にエコ通勤を実践していただき、朝夕ピーク時の自動車交通量を削減し、交通渋滞の緩和とCO₂排出量の削減を図ります。

マイカーでご通勤のあなたのご協力、ご参加をお願いします!!

こんな方法が「エコ通勤」

■■■交通手段を変更して■■■
マイカー通勤から徒歩や自転車、鉄道、バスなど、環境負荷の小さい交通手段による通勤に変更!
鉄道駅が遠い場合は、マイカーと鉄道を組み合わせてもOK!!

■■ピークの時間帯を避けて■■
どうしてもマイカーでなければ通勤できない人は、時間帯を少しずらして出勤!
渋滞を避けることで通勤時間が短縮でき、CO₂排出量が削減されます。

エコ通勤実験参加者募集!

- 実験期間中、エコ通勤にチャレンジしてください。
- 実験に参加いただける方はインターネットで事前登録をお願いします。
- 実験期間中のあなたのCO₂削減量に応じて、加盟店で買える“エコシール”をプレゼント!!

参加登録はこちらへアクセス!

<http://michinavitoyota.jp/tdm/>

■ 詳しくは、裏面をご参照下さい。

【実施主体・お問い合わせ先】

- 豊田市TDM研究会(事務局：財)豊田市交通研究所 TEL：0565-31-7543 E-Mail：ttri@ttri.or.jp
- 豊田市交通まちづくり推進協議会(担当部署：交通政策課 TEL：0565-34-6603 E-Mail：koutsu@city.toyota.aichi.jp)
- 中部圏における通勤交通マネジメントの推進による地球環境改善に関する検討会

WebによるTFP支援システム

- Step.1: 参加登録と現行の通勤交通行動の入力
 - メールアドレス、ID、パスワード等、居住地、就業地、通勤実態等登録
 - 参加者の事前意識(渋滞意識、個人レベルでの取り組み重要性)
 - 現行通勤時のCO2排出量を算出しフィードバック
- Step.2: ECO通勤プランづくり
 - 実施可能なECO通勤(公共交通利用、相乗り、時差出勤)を計画
 - 「みちなびとよた」を活用し、公共交通に関する情報を提供
- Step.3: ECO通勤の実施
 - 実験期間中のECO通勤実施状況を記録
 - ECO通勤によるCO2削減量情報をフィードバック
- Step.4: 実施後アンケート調査による意見収集
 - 実験最終日記録終了後にアンケート調査(環境意識、継続可能性など)
- Step.5: 実験結果報告と継続実態把握
 - 実験から2ヶ月程度経過後に実施
 - 実験最終結果(全体・個人のCO2削減量、道路混雑変化等)の報告
 - 実験後のECO通勤実施実態、Webシステムへの意見など収集

Webによる TFP支援 システム 画面

https://toyota.demo.mtom.co.jp - チャレンジECO通勤 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

チャレンジECO通勤
地球のためにひとり一人ができること

ログアウト

あなたがクルマの使い方を考えて、ちょっとした工夫をすれば、地球温暖化だけでなく、自動車排ガスや渋滞などの自動車の問題は、解決に一步近づきます。
ちょっとしたこともかもしれません。面倒なことかもしれません。
でも、**大きな変化**になると思います。そのためにも、『クルマの使い方』をみんなで考えてみませんか？

Step. 1
現在の通勤
行動を登録

■チャレンジECO通勤参加登録
・現在の通勤方法を登録します。

Step. 2
エコ通勤
プランを検討

■エコ通勤プランを立てましょう
・みなさんがそれぞれ実践可能な「エコ通勤」を
考えて頂きます。
・公共交通機関に関する情報は、「みちなびとよた」を活用！

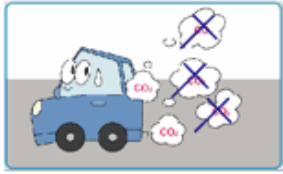
Step. 3
エコ通勤に
チャレンジ

■5日間のエコ通勤実験にチャレンジ！
・11月14日～18日の5日間で、みなさんがそれ
ぞれ計画したエコ通勤を実践してみましょう！

Step. 4
アンケート
に答えよう

■アンケートにご協力ください
・みなさんが実践した5日間のECO通勤について
のアンケートにお答えください。





■登録内容修正
登録したIDやパスワード、メールアドレスなどを修正します。

■登録解除
登録を解除します。

豊田市内の移動は、ポータル
サイトでパソコンから検
索。
市外の情報は電話でオペレーターがお答えします！
ポータルサイト：<http://michinavitoyota.jp/>
TEL : 0565-36-0105


豊田移動支援ポータルサイト
みちなびとよた

Webによる TFP支援 システム 画面

https://toyota.demo.mtom.co.jp - チャレンジECO通勤 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

チャレンジECO通勤 地球のためにひとり一人ができること ログアウト

トップへ > 実施

Step. 1
現在の通勤行動を登録

↓↓↓

Step. 2
エコ通勤プランを検討

↓↓↓

Step. 3
エコ通勤にチャレンジ

↓↓↓

Step. 4
アンケートに答えよう

実施：通勤行動の登録

■Step.1 16日(水)の通勤行動を登録します。

※表示されているのは、現行の所要時間です。実際にかかった走行所要時間に修正してください。

記入例
自転車で駅まで行き会社の近くの駅まで電車を利用して駅から会社までを徒歩の通勤行動の場合
鉄道の欄に乗車時間、自転車と徒歩の欄に移動時間を入力してください。

※移動手段として利用しない欄は変更しないでください。

■ 基本事項 ■

【1】出発時刻 : 7 時 45 分

【2】到着時刻 : 8 時 10 分

【3】行き先 : 豊田市トヨタ町

■ 自転車・オートバイ ■

【4】移動手段 : 軽自動車

【5】移動距離 : 3.0 km (半角)

【6】移動時間 : 5 分 (半角)

【7】乗車人数 : 1 人 (半角)

※相乗りの方もご入力してください。

■ 鉄道 ■

【8】乗車時間 : 15 分 (半角)

■ バス ■

【9】乗車時間 : 0 分 (半角)

■ 自転車 ■

【10】移動時間 : 0 分 (半角)

■ 徒歩 ■

【11】移動時間 : 5 分 (半角)

確認

計画通りに通勤した場合に選択

プラン2 プラン3

※通勤計画の行動が挿入されます。

Webによる TFP支援 システム 画面

https://toyota.demo.co.jp - チャレンジECO通勤 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

チャレンジECO通勤 地球のためにひとり人ができること

ログアウト

トップへ > 実施

Step. 1
現在の通勤行動を登録

↓ ↓ ↓

Step. 2
エコ通勤プランを検討

↓ ↓ ↓

Step. 3
エコ通勤にチャレンジ

↓ ↓ ↓

Step. 4
アンケートに答えよう

実施：実施した通勤行動の評価

通勤行動の評価

あなたが実施した通勤行動を登録／修正してください。
実施した通勤行動を登録するには、表の各日付の直下にある取り組みを選んでをクリックしてください。
修正するには各日付の『修正』をクリックしてください。入力した情報をクリアする場合は各日付の『クリア』をクリックしてください。

■あなたの通勤行動の評価は次の通りです。

指標	現行	14日(月)	15日(火)	16日(水)	17日(木)	18日(金)	平均
取り組み	—	時差出勤	通常出勤	交通手段変更	時差出勤 交通手段変更 通常通り出勤 出勤無し	時差出勤 交通手段変更 通常通り出勤 出勤無し	—
移動時間(分)	20	18	20	25	21	21	21
CO2排出量(g)	1,040.52	995.81	1,040.52	412.02	816.12	816.12	816.12
処理	—	修正／クリア	修正／クリア	修正／クリア	—	—	—

5日間の「チャレンジECO通勤」への参加、ありがとうございました。
ECO通勤を実施してみた感想は、いかがでしたか？
5日間の通勤記録がお済みの方は、最後にStep.4に進み、アンケートにお答え下さい。お手数をおかけしますが、よろしくお願いします。

→ → → **Step. 4**

■「チャレンジECO通勤」参加者全員の出勤時のCO2排出量の合計は次の通りです。

指標	現行	14日(月)	15日(火)	16日(水)	17日(木)	18日(金)	平均
移動時間(分)	4,100	103.04	120	76	55	53	81.41
CO2排出量(g)	293,690.99	5,326.72	4,513.6	4,009	4,837.52	2,539.72	4,245.32
入力済人数(人)	152	7	5	5	4	4	5

300000
280000
260000
240000
220000
200000
180000
160000
140000
120000
100000
80000
60000
40000
20000
0

99% 減 99% 減 99% 減 99% 減 100% 減

現行 14日 15日 16日 17日 18日

「みちなびとよた」経路検索画面

アクセス件数

16万件／月



34万件／月

MICHINAVI MAPS TOYOTA, AICHI

豊田市移動支援ポータルサイト

みちなびとよた

マップ一覧 名称一覧 写真一覧 詳細一覧 経路情報

出発地: 地点A ~ 目的地: 地点B の経路情報を表示しています。

250m

【25m 50m 100m 250m 500m 750m 1km 2km】

本地図は2004年現在のもので使用しています。2005年以降の道路情報、市町村合併や供用開始された道路等については反映されていません。

出発地: 地点A
目的地: 地点B

検索オプション

時刻指定: 到着時刻指定 2006年7月7日8時10分

交通手段: 公共交通+徒歩

徒歩: 普通

福祉バス: ☒ 使用しない ☐ 使用する

有料道路: ☒ 使用しない ☐ 使用する

Search

検索結果5件の経路情報が見つかりました。

候補	出発	到着	手段	時間	運賃
第1候補	7:29	7:58	徒歩・普通・路線バス	29分	400円
第2候補	7:22	8:07	徒歩・普通・路線バス	45分	400円
第3候補	7:15	8:10	徒歩	55分	-
第4候補	7:13	7:55	徒歩・路線バス	42分	210円
第5候補	6:52	7:52	徒歩・普通・路線バス	60分	580円

地点A
地点B

の天気予報

2006/07/06 21:00発表

	現在	6時間後	12時間後
出発地	気温: 24.1℃ 雨量: 0mm	気温: 26.1℃ 雨量: 0mm	気温: 24.2℃ 雨量: 1mm
目的地	気温: 24.1℃ 雨量: 0mm	気温: 26.1℃ 雨量: 0mm	気温: 24.2℃ 雨量: 1mm

Copyright(C)2004 ZENRIN CO.,LTD. (特許番号 2040-第207号)

-ZoomOut +ZoomIn

第1候補の区間情報を表示しています。

区間	出発	到着	手段
第1区間	7:29	7:35	徒歩
第2区間	7:38	7:44	名古屋鉄道 三河線
第3区間	7:44	7:46	徒歩
第4区間	7:51	7:52	名鉄バス 豊田市・衣ヶ原・赤池駅線
第5区間	7:52	7:58	徒歩

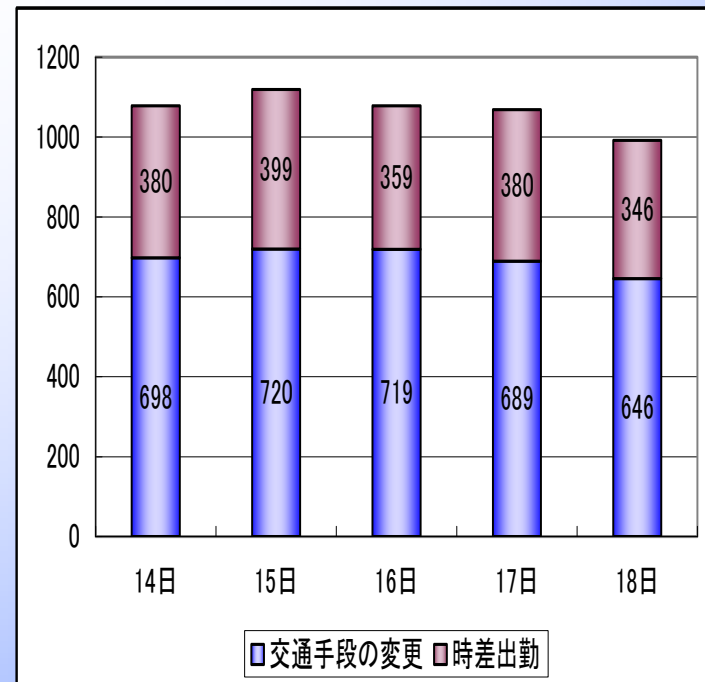
時間: 2分
時間: 1分
運賃: 180円
時間: 6分

※表示されている運賃は大人運賃です。
 ※このページに表示されている公共交通の時刻については豊田市役所 都市整備部交通政策課及び財団法人 豊田市交通研究所により作成されています。
 公共交通の時刻についての問合せは、豊田市役所 都市整備部交通政策課(TEL 0565-34-6603)まで

「チャレンジECO通勤」参加実績

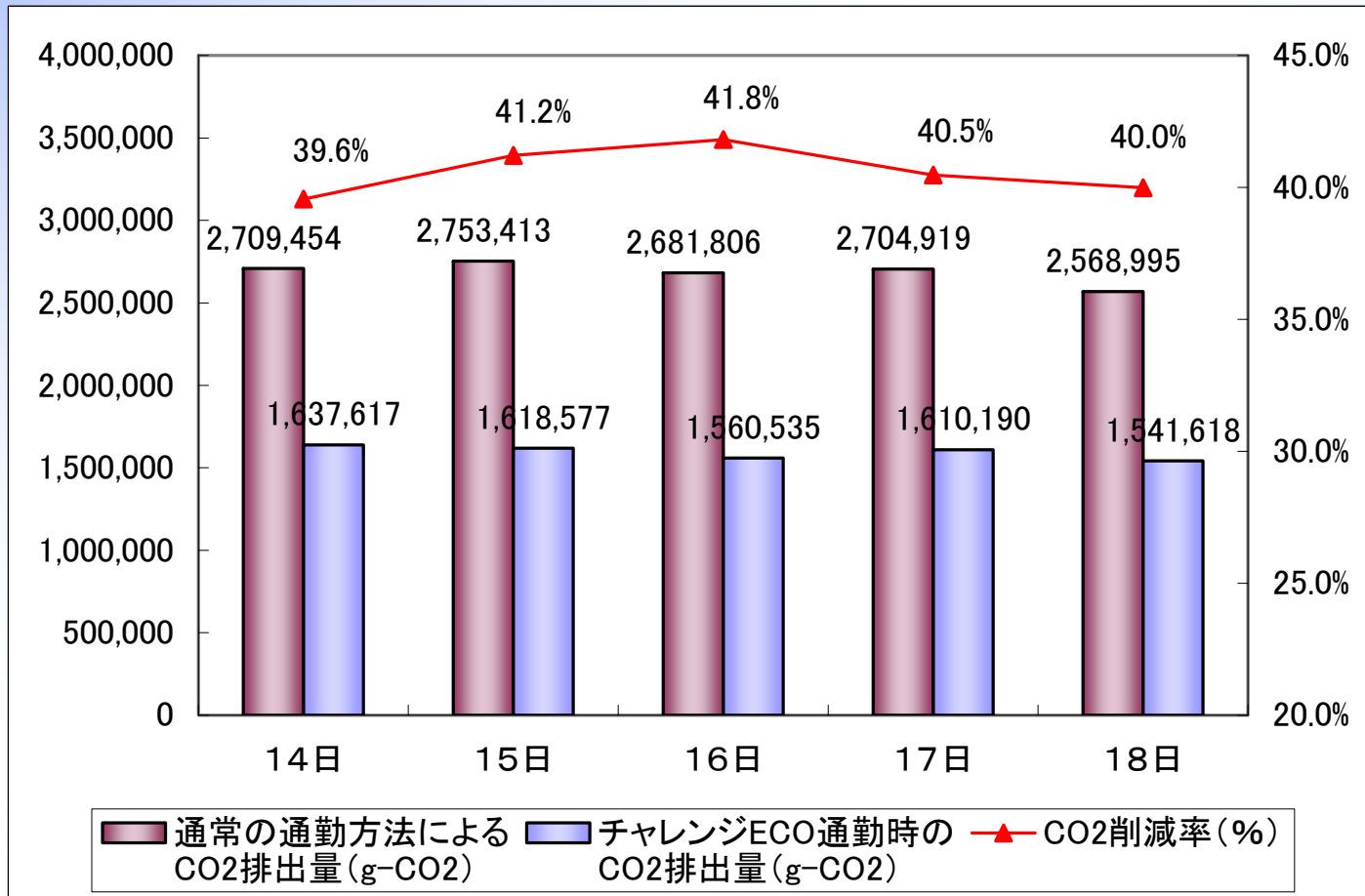
- 参加登録者は1,660名。うちWebシステム利用は1,454名。
- ECO通勤実施率(実施者／登録者)は、65%程度。
- 交通手段変更が約65%(うち相乗りが12%)、時差出勤が約35%。

	14日	15日	16日	17日	18日	計
交通手段変更	698	720	719	689	646	3,472
時差出勤	380	399	359	380	346	1,864
ECO通勤実施者	1,078	1,119	1,078	1,069	992	5,336
出勤無し	104	87	104	85	136	516
通常通り出勤	299	268	278	292	293	1,430
記録者総計	1,481	1,474	1,460	1,446	1,421	7,282
(未記入者)	179	186	200	214	239	1,018
登録者数	1,660	1,660	1,660	1,660	1,660	8,300
ECO通勤実施率	64.9%	67.4%	64.9%	64.4%	59.8%	64.3%



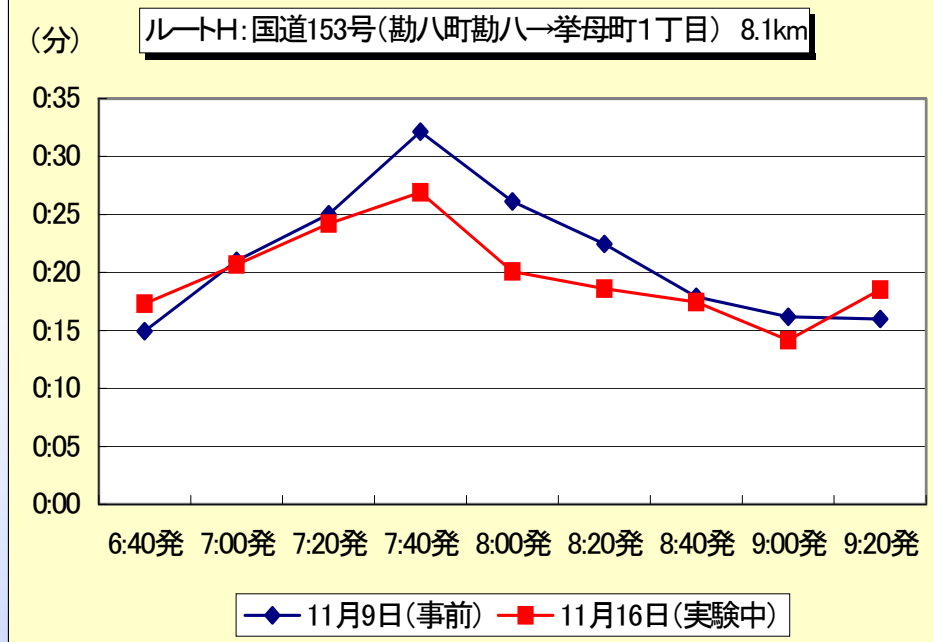
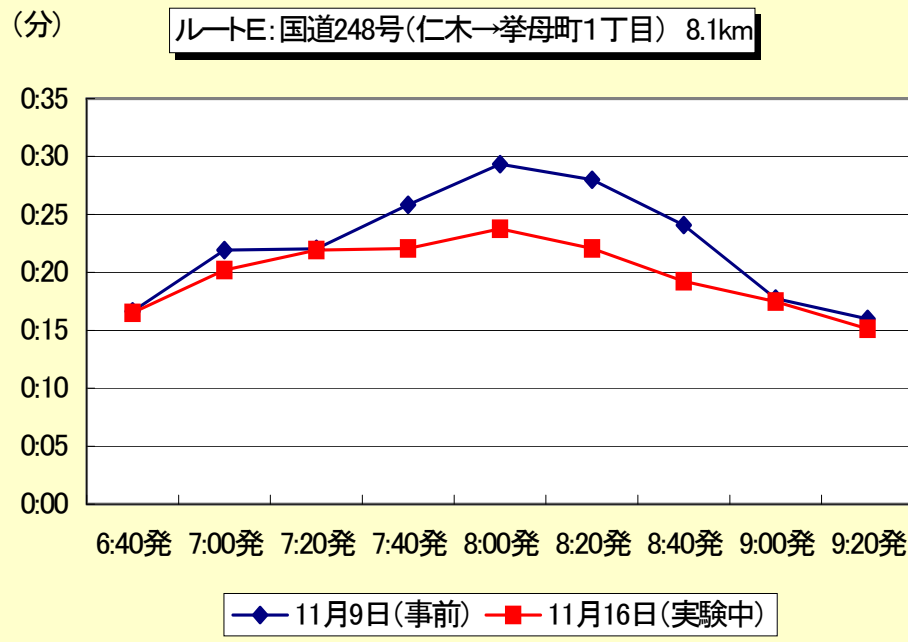
「チャレンジECO通勤」の成果

- 5日間のCO2排出量は、13,418,587 g から 7,968,536 gに減少。割合にして、40.6%の削減。



「チャレンジECO通勤」の成果

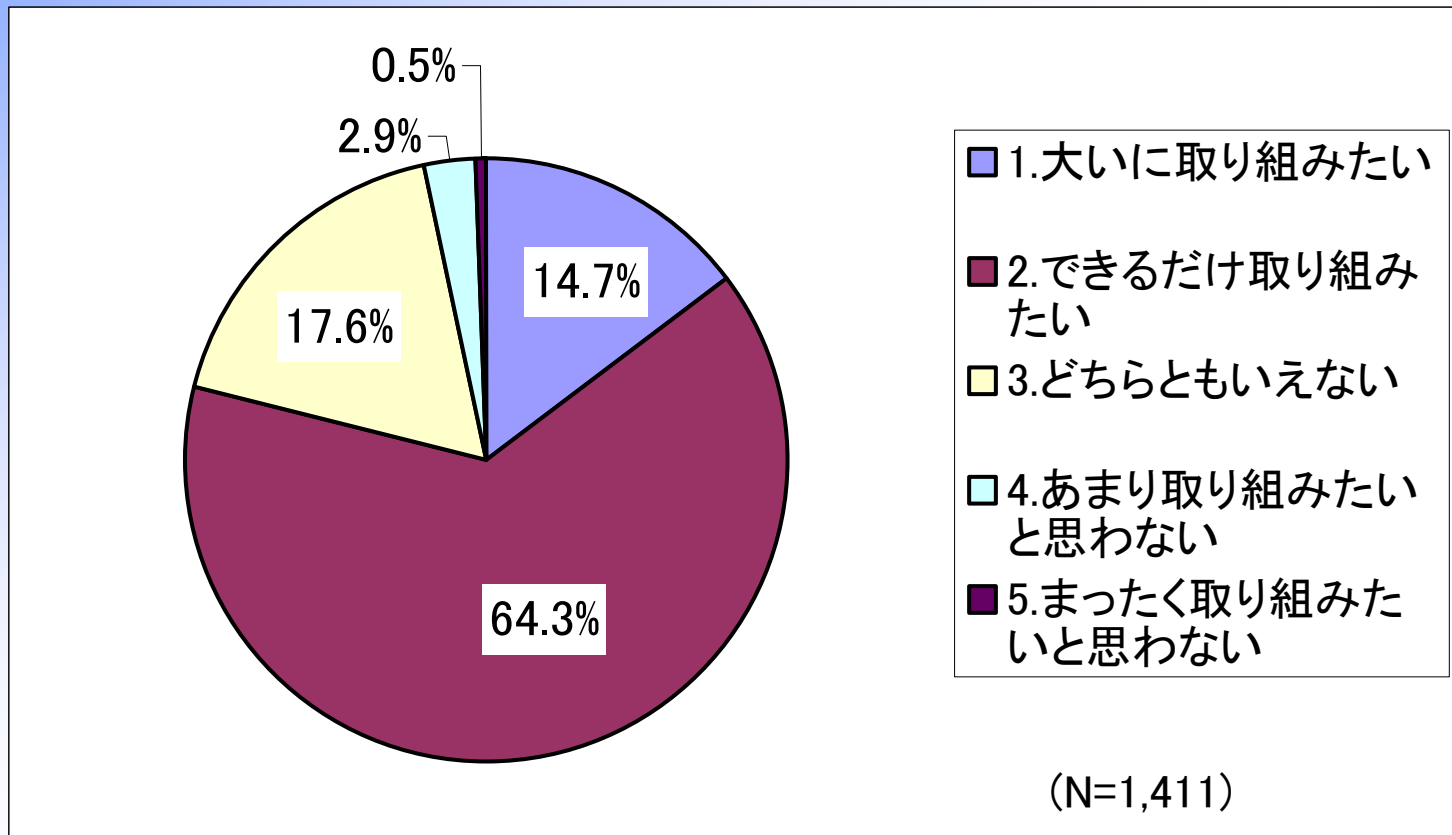
- 幹線道路のプローブカー走行調査では、旅行時間短縮がみられた路線もあり。
- 増加した路線もあり、実験との因果関係は断定できないが、参加者には「事実」として短縮路線のグラフを提示。



「チャレンジECO通勤」の成果 (実験後の事業所の動向)

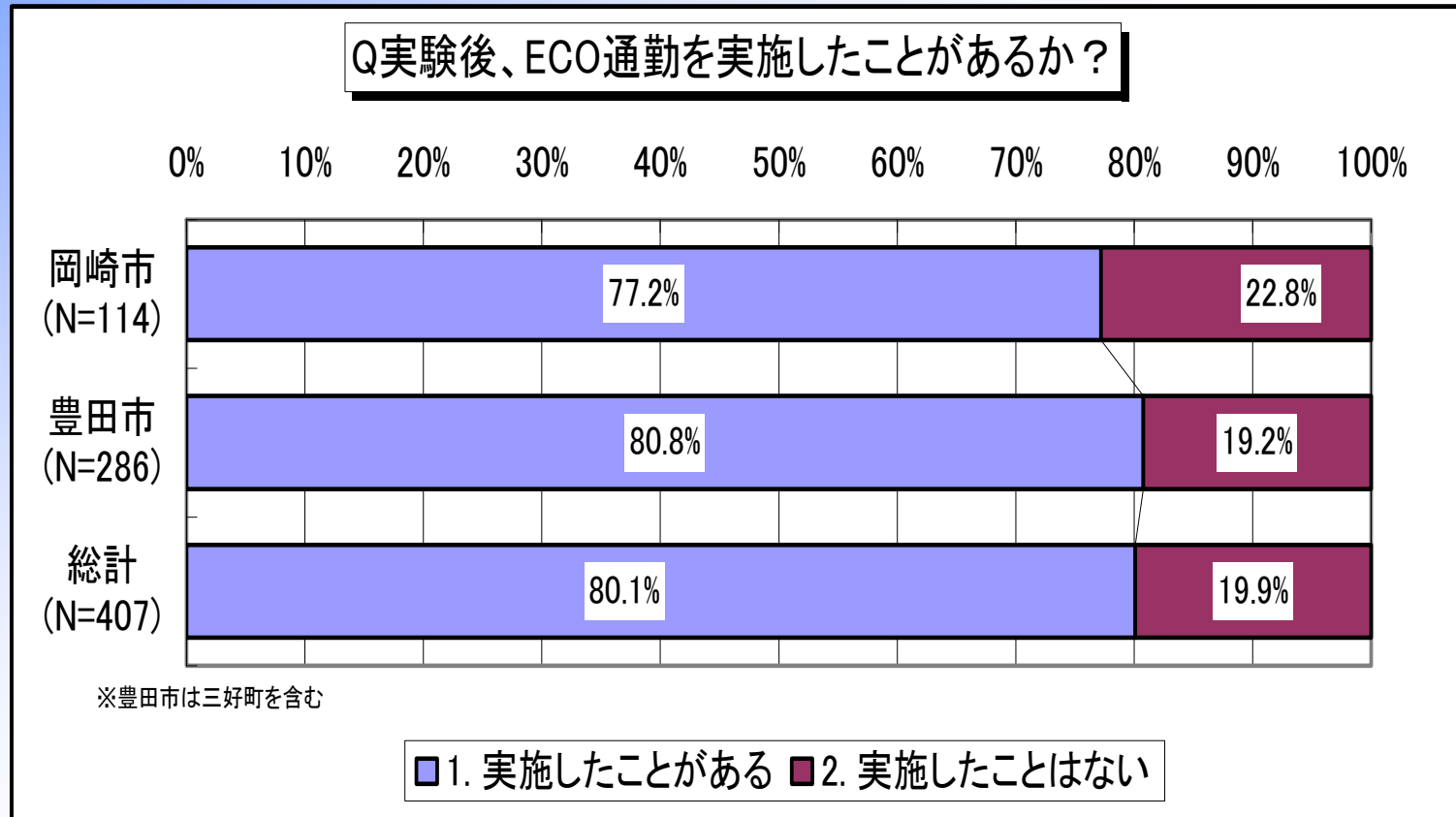
- 実験で使用したシステムに関する問い合わせ→事業所として独自に取り組みたいという申し出あり。(ISO14001対策関連部署)
- 市役所では、職員への駐車場配分規定をより厳格化。
- 交通事業者から、利用促進としてタイアップの意志表示

TFPの成果



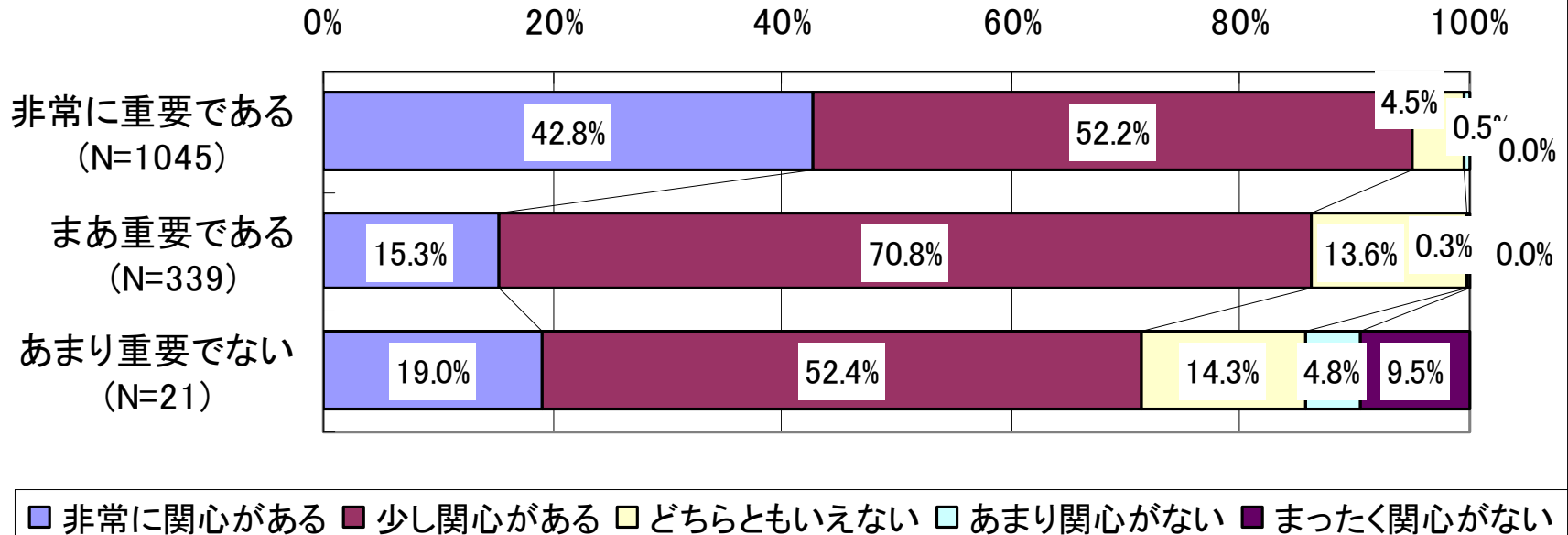
- 実験終了時のアンケートでは、ECO通勤への取り組み意欲は、約80%が「大いに取り組みたい」「できるだけ取り組みたい」と回答。

TFPの成果



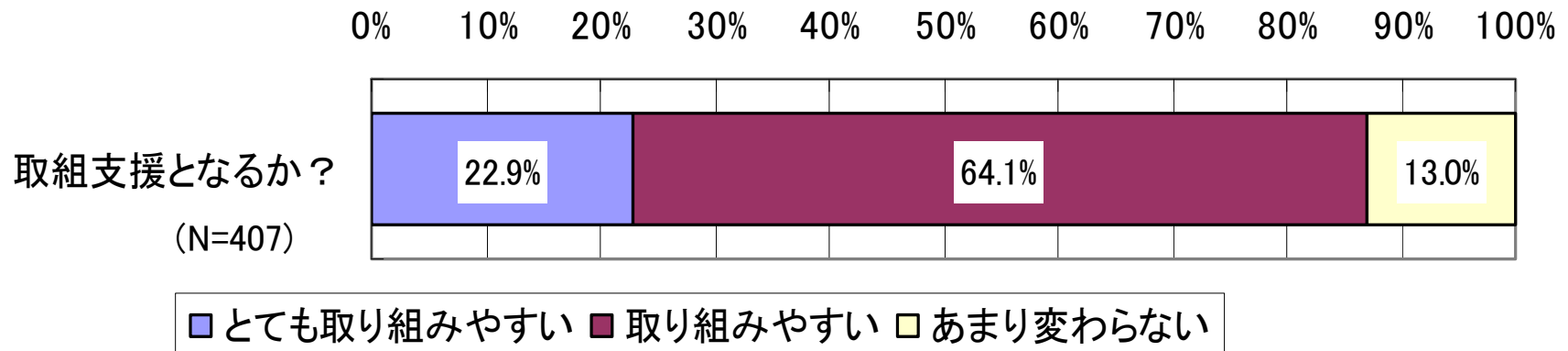
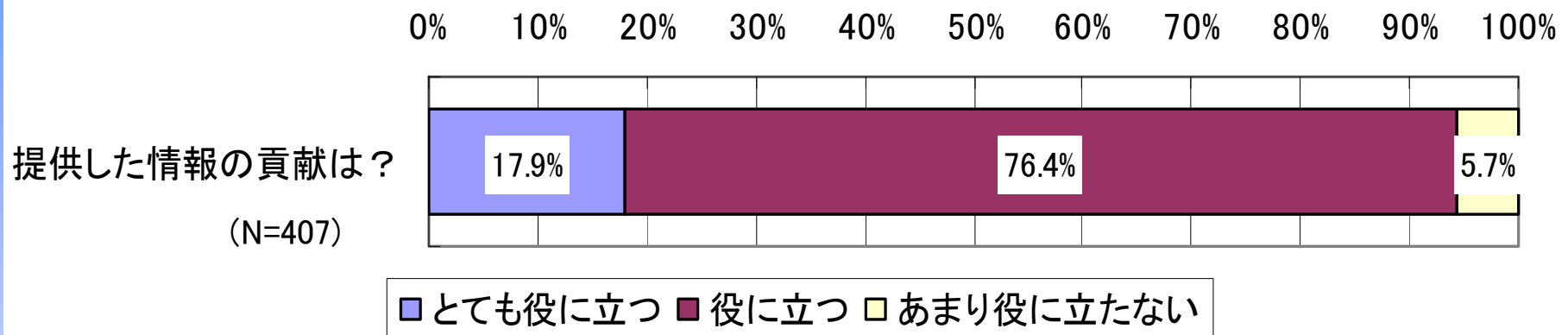
- 実験終了から2ヶ月後の調査 (Step.5) に回答した人はWeb参加者1,454名のうち407名 (28%) だったが、そのうち80%は実験後もECO通勤を実施している。

TFPの成果



- 事前調査で、ECO通勤の取り組みを「あまり重要でない」と答えていた参加者層の72%が、実験直後調査で「環境に関する取組みに関心がある」と回答。
→ 意識向上が図られたと考えられる

WebによるTFP支援システムの評価



- 提供した情報は、約94%が「とても役に立つ」「役に立つ」と回答し、システムによる取り組みやすさでは、約87%が「とても取り組みやすい」「取り組みやすい」と回答。

TFP実施の実務的な問題と反省点

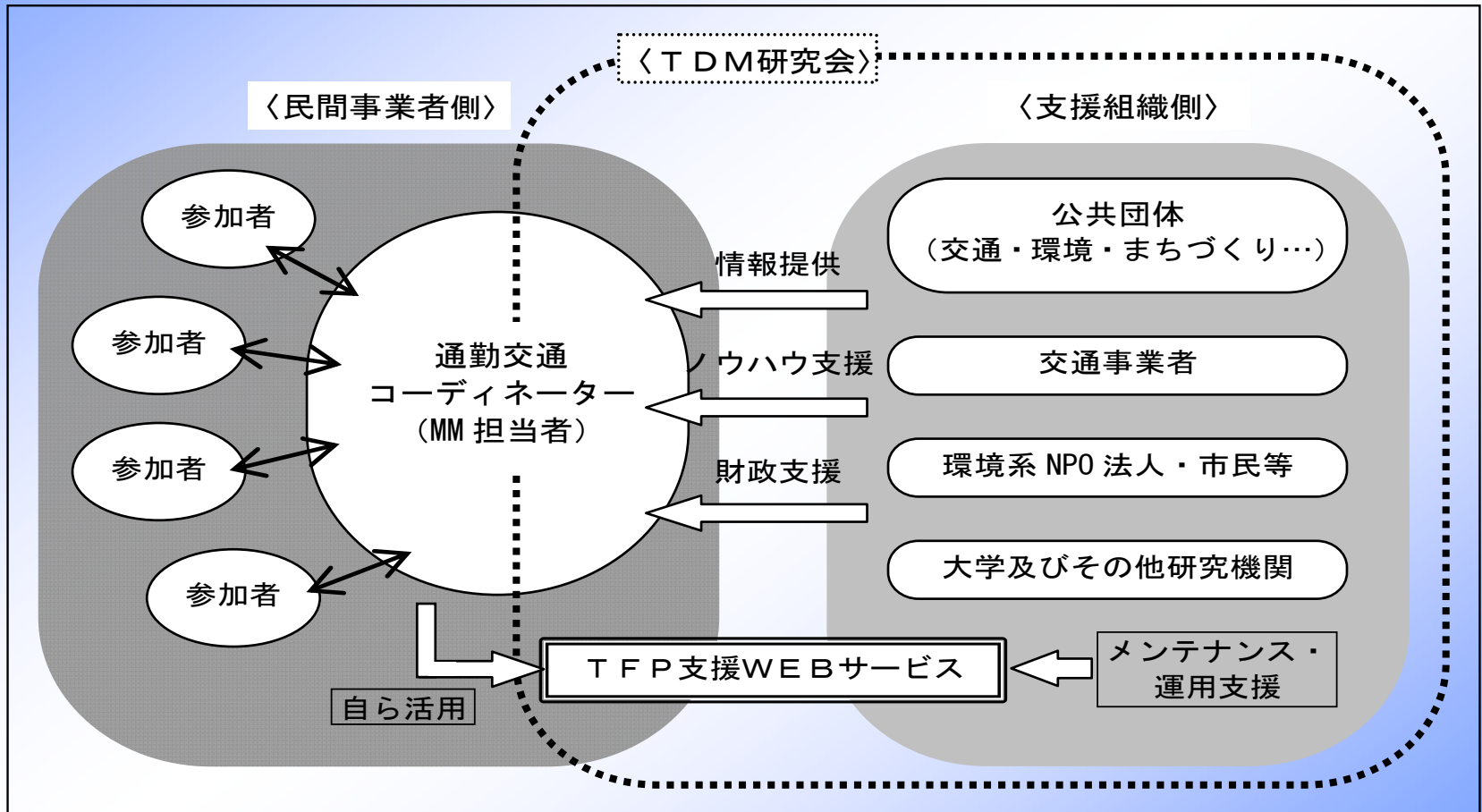
- 個人情報保護の観点から、事業所でのメールアドレスとりまとめが不可能なケース
- 募集は企業単位ではなく個人単位の募集形式をとったため、事業所ごとの集計が不可能
- メールアドレスを持たない参加者への対応
- 同一アドレスの共有が多々あり、直接的なコミュニケーションが困難なケース
- 参加者のアドレス入力ミス等により、事務局からの情報提供が届かないケース

ま と め

- 環境対策に訴えるTFPを実施したことで、個人の行動変容、事業所の取組み意欲向上を促すことができた。
- WebによるTFPは、メール不達防止、個人情報保護、入力・プラン作り等支援の向上など、諸課題がある。
- 今後、事業者が主体的に取り組むための体制づくりを目指す。(まずはWebシステムの改良、配付など)
- H18年度は「健康面での効果」を情報提供し、「環境対策」との比較分析をしながら、効率的で恒常的なWeb上のTFP支援システムの活用を検討する。

通勤MM推進の将来像

(中部運輸局「国土施策創発調査」からの提言)



- 今後の継続に向けてより幅広い関係者が協力しながら、事業者がより主体的に取り組める体制づくりが必要



チャレンジECO通勤の省エネ効果 輪を広げよう、 かしこい車の使い方！



平成18年度
チャレンジECO通勤の
成果の概要

岡崎市・瀬戸市・春日井市・豊田市
財団法人豊田都市交通研究所
愛知県地球温暖化防止活動推進センター

みなさんで取り組んでみませんか？

チャレンジECO通勤

自動車はとても便利で快適なのりものですよ！！

でも・・・



地球温暖化ガスの排出や、渋滞による時間のムダ遣い。
残り少なくなってきた原油、ガソリン代の値上がり。
良いことばかりではないみたいです。

家族や友だちとのドライブや、お子さまと買い物に行くお母さん。
自動車でなければならないことはたくさんあります。

だけど、たったひとりで渋滞の中を運転する通勤。
ちょっと工夫してみると、ムダを減らせるかも！？

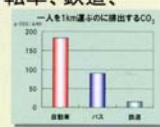
『チャレンジECO通勤』とは・・・

- 「環境にやさしい」そして「健康増進につながる」通勤 を実行することで、渋滞のない、住みやすいまちづくりを目指す取り組みです。
- インターネットを使って、あなたのECO通勤を記録してください！通勤時のエネルギー・CO2削減量や消費カロリーをチェックすることができます。

こんな方法が『ECO通勤』

■■■交通手段を変更して■■■

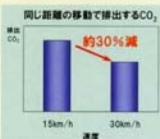
マイカー通勤から徒歩や自転車、鉄道、バスなど、環境負荷の小さい交通手段による通勤に変更！鉄道駅が遠い場合は、マイカーと鉄道を組み合わせてもOK!!



■■■ピークの時間帯を避けて■■■

どうしてもマイカーでなければ通勤できない人は、時間帯を少しずらして出勤！

渋滞を避けることで通勤時間が短縮でき、CO2排出量が削減されます。



■■■あいのりも効果的■■■

近所の人、同じ職場の人が1台の車に乗って通勤すれば、CO2は半減！

参加者登録先着3,000名様に

万歩計をプレゼント！

インターネットの『チャレンジECO通勤支援システム』では、通勤をはじめ日々の歩行数を入力し、消費カロリーをチェックすることができます。そこで、参加登録頂いた方には、先着で万歩計をプレゼントいたします。



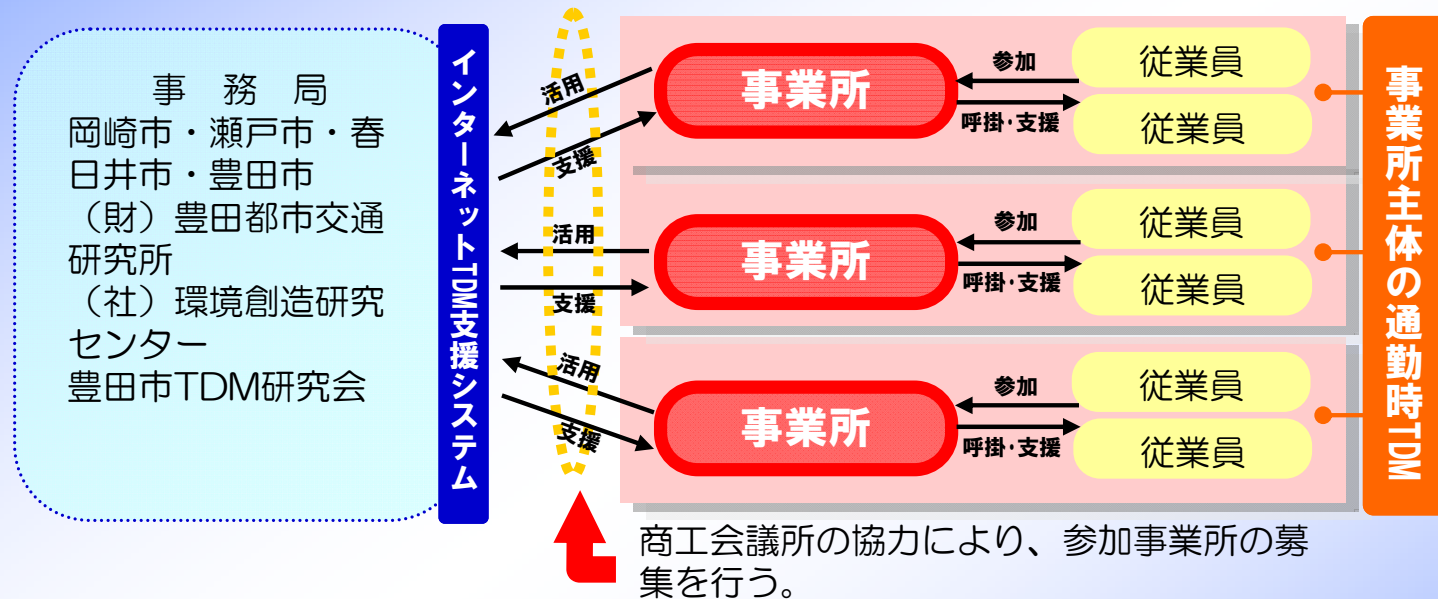
参加登録はこちらへアクセス！

<http://michinavitoyota.jp/tdm/>

詳しくは、裏面をご参照下さい。

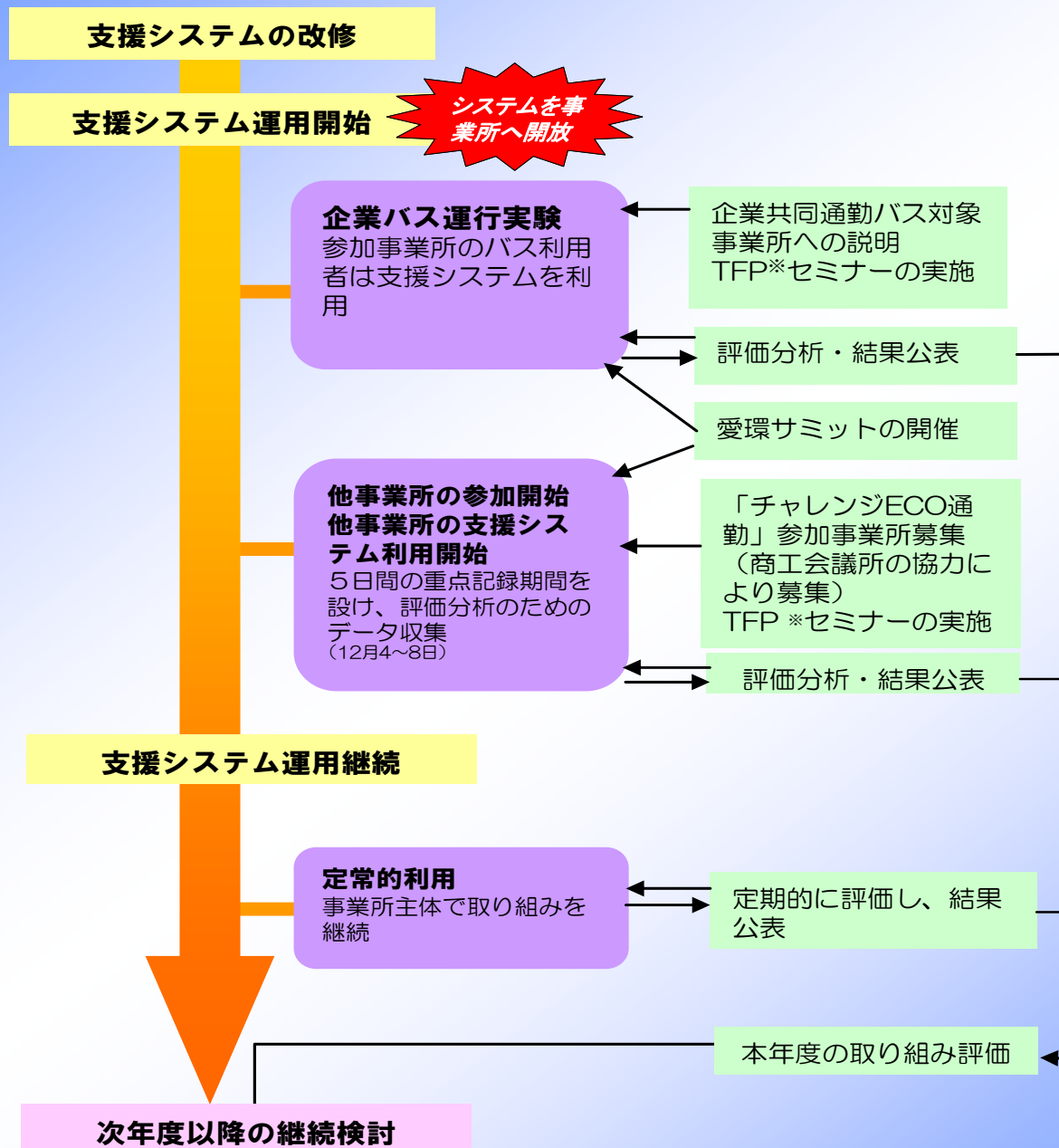
平成18年度の取組み

事業所単位での取り組みができるよう「チャレンジECO通勤支援システム」を改良



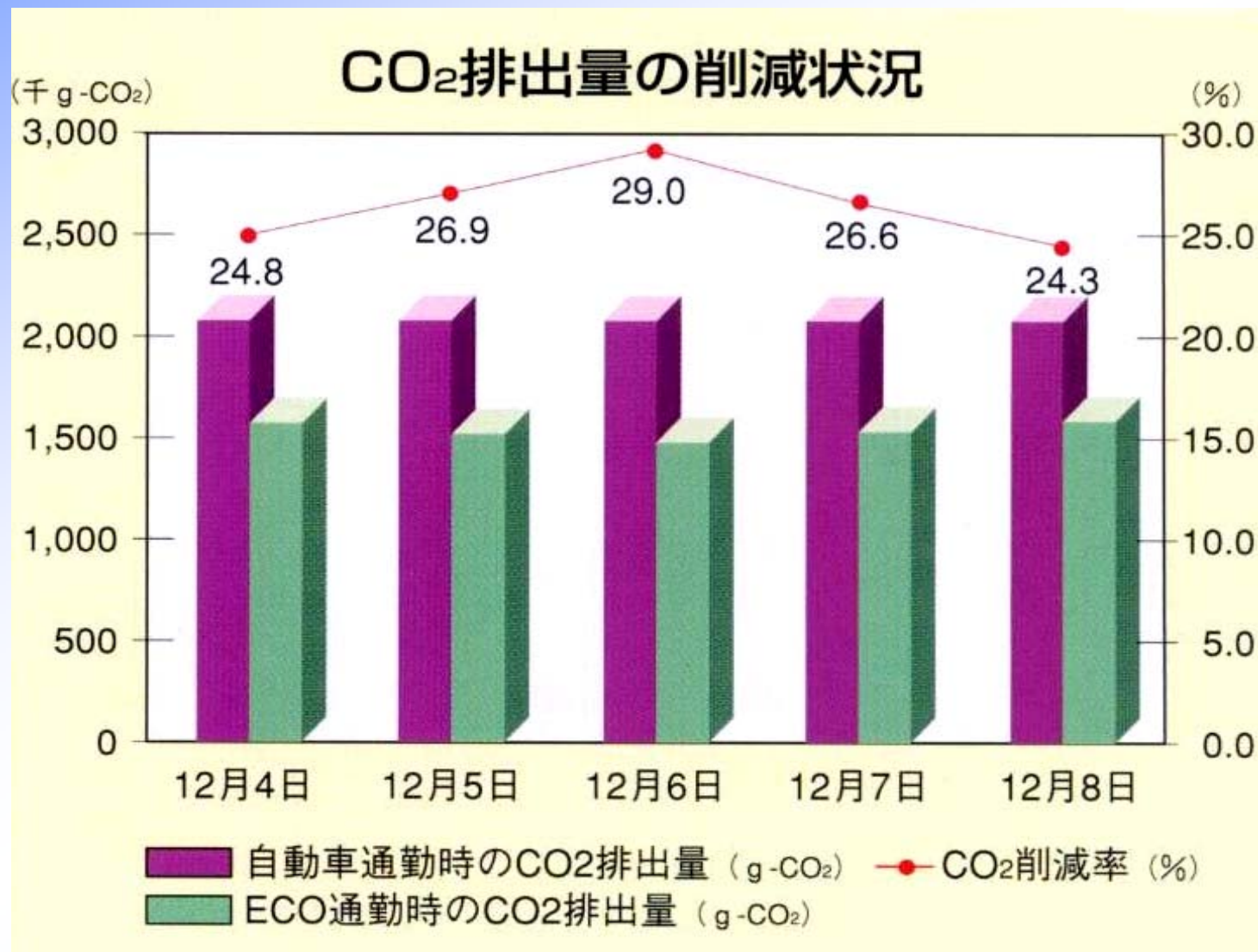
【システムの改善点】

- 常時Web上でシステムを公開し、事業所が登録することでこれを活用できるものとした。
- 事業所担当者用の管理ページを設け、事業所単位でのデータ集計を閲覧し、また従業員が入力したデータセットをダウンロードできるようにした。
- CO2削減量に加えて、エネルギー削減効果、歩行数によるカロリー消費量がECO通勤の効果として表示されるようにした。



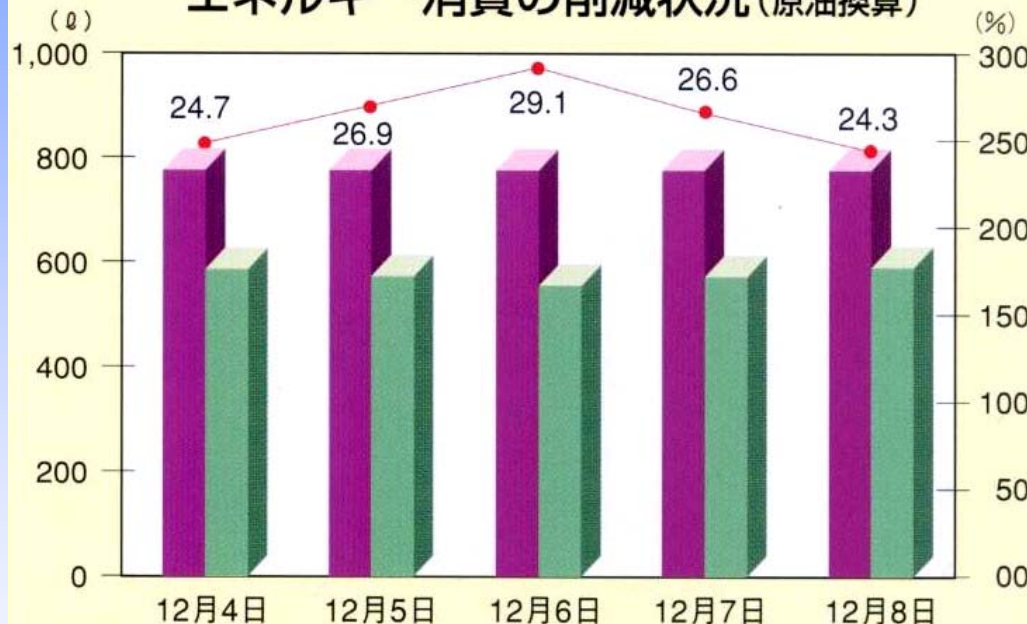
TFP※＝ひとりひとりの自律的な行動変化を促すコミュニケーション型のプログラム

取組みの結果



取組みの結果

エネルギー消費の削減状況(原油換算)



1日の1人あたり男女別平均歩数の増加



5日間の強化週間では、

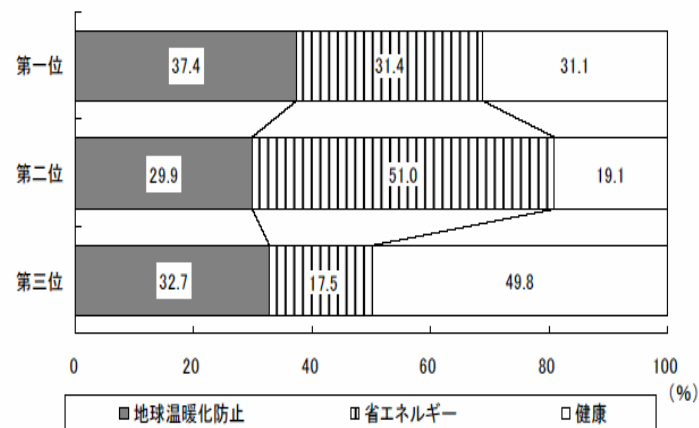
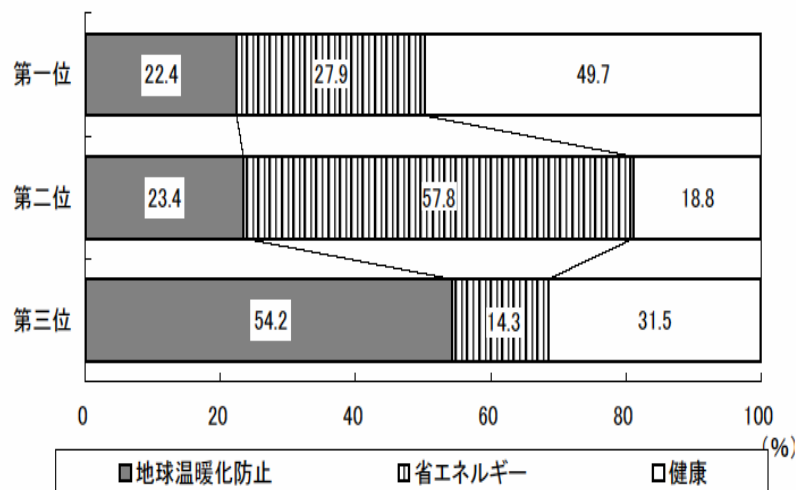
- 二酸化炭素排出量は27%の削減
- 歩数は14%の増加

取組みの結果

継続者の取り組みに対する重視項目（地球温暖化、省エネ、健康）

- ・継続者の重視項目は、第1位 健康、第2位 省エネ、第3位 地球温暖化
- ・ちなみに、新規登録者も含めると、第1位 地球温暖化、第2位 省エネ、第3位 健康。

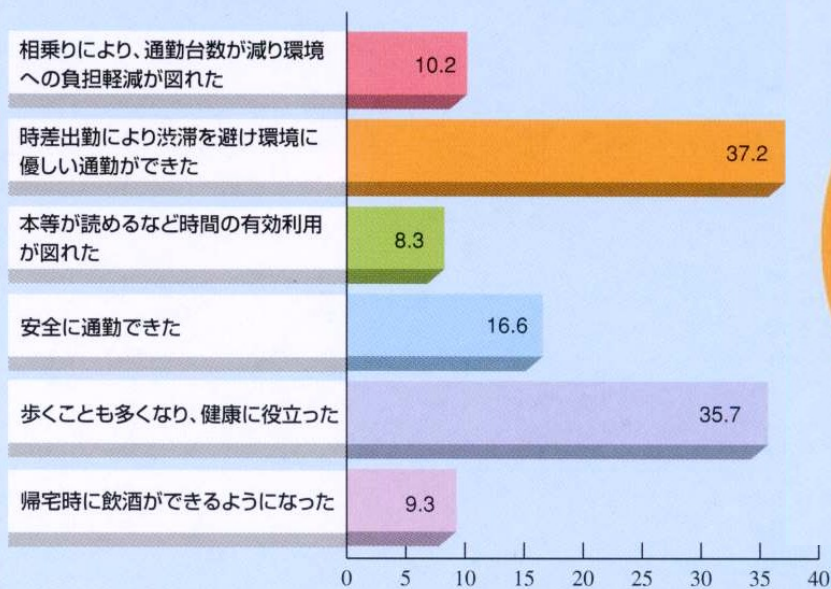
図3-5 ECO 通勤の取り組みと「地球温暖化防止、省エネ、健康」



取組みの結果

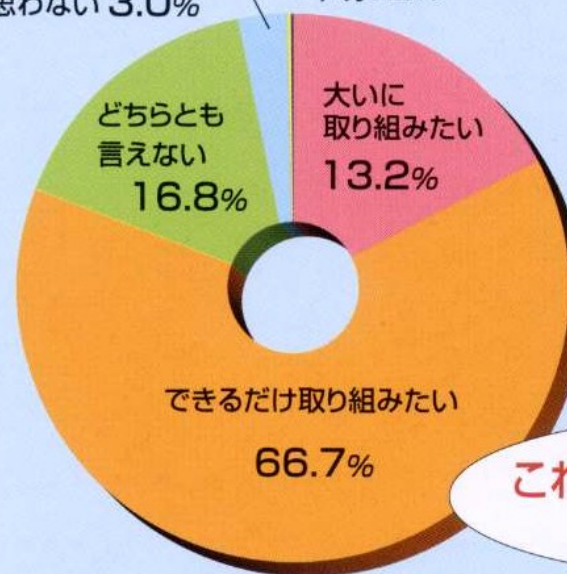
アンケートの結果から

「ECO通勤」実施に対するメリット（複数回答）



今後の「ECO通勤」の継続について

あまり取り組みたいとは思わない 3.0%
思わない 0.2%
不明 0.2%



今後の「ECO通勤」について聞いたところ、「できるだけ取り組みたい」と回答している人が66.7%で、全体の2/3を占めており、「大いに取り組みたい」と回答した人を合わせ8割の人が継続の意向でした。

これからもECO通勤を
続けましょう!

ECO通勤実施者の約8割が今後も継続する意向

取組みの結果

チャレンジECO通勤に参加していただいた事業所

●「チャレンジECO通勤」参加事業所

アイシン・エイ・ダブリュ（株）岡崎工場、愛知県西三河事務所、愛知県立岡崎高等技術専門校、愛知電機（株）、岡崎商工会議所、NTT西日本 東海 岡崎支店、岡崎市六ツ美商工会、岡崎市役所、岡崎信用金庫、春日井市役所、春日井商工会議所、光生アルミニウム工業（株）、公立陶生病院、三栄工業（株）、（株）三龍社、（株）ジーシーデンタルプロダクツ、昭和精機（株）高蔵寺工場、（株）鈴木商館、瀬戸市役所、瀬戸商工会議所、瀬戸信用金庫、太啓建設（株）、大豊工業（株）、大豊精機（株）、（株）ダッド、東レ（株）岡崎工場、豊田産業文化センター、トヨタ自動車（株）、豊田市役所、豊田商工会議所、豊田信用金庫、豊田鉄工（株）、（財）豊田都市交通研究所、豊通エンジニアリング（株）、日清紡績（株）美合工場、プライムデリカ（株）豊田工場、三菱自動車工業（株）、（株）メイダイ、（株）メンテック、豊精密工業株式会社、菱栄工機（株）

■チャレンジECO通勤取組み事業所ランキング（事務局は除く）

従業員のECO通勤 実施延べ回数 ベスト5事業所

1位	（株）ダッド	783回
2位	三栄工業（株）	364回
3位	豊田信用金庫	119回
4位	瀬戸商工会議所	76回
5位	瀬戸信用金庫	69回

事業所あたりの 二酸化炭素削減量 ベスト5事業所

1位	（株）ダッド	1,364,669g
2位	愛知県立岡崎高等技術専門校	195,482g
3位	大豊精機（株）	183,503g
4位	三栄工業（株）	182,592g
5位	東レ（株）岡崎工場	153,912g

参加者一人あたりの 平均二酸化炭素削減量 ベスト5事業所

1位	愛知電機（株）	42,847g
2位	昭和精機（株）	24,301g
3位	春日井商工会議所	17,602g
4位	（株）メンテック	11,141g
5位	大豊精機（株）	10,794g

（※平成18年11月～平成19年1月のECO通勤実績を集計した結果）